



クローズアップ
CLOSE UP

光の輝き新たな風物詩

12月9日に、道の駅まえばし赤城でイルミネーション点灯式を開催しました。約17万球のLEDが園路や屋外広場、屋外テラスなどの3つのエリアで幻想的な空間を演出しています。点灯は2月末まで。週末は一部のテナントで営業時間を延長しています。



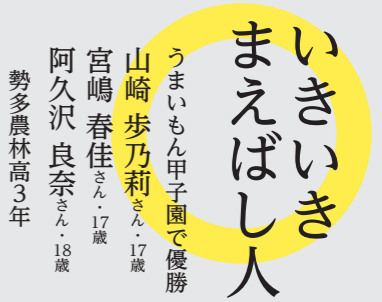
初代大胡藩主称え祭り

12月17日、大胡シャンテマルホールで大胡城・牧野氏まつりを開催しました。牧野康成公ぬり絵コンテスト表彰式のほか、市立前橋高書道部や上州大胡風神太鼓保存会などが記念舞台を披露。会場外では、大胡神社のムクロジの種を使ったアクセサリー作りも実施しました。



楽しい学びの舞台発表

市内6ロータリークラブとの共催による「まえばし学校フェスタ」を11月18日・19日に前橋プラザ元気21で開催しました。市内の幼稚園や小・中・特別支援学校、市立前橋高の子どもたちが学校などで取り組んでいる文化活動を発表。図工美術作品展も合同開催しました。



新たな群馬名物が誕生

オリジナルメニューを競う高校生料理コンテスト「ご当地！絶品うまいもん甲子園」で優勝した勢多農林高の3人。「群馬のお好そば焼き」で全国79校304チームの頂点に立った。「結果を聞き最初は驚きました。7月頃からみんな頑張ってきた成果が報われてうれしかったです」と阿久沢さん。野菜やこんにやく、豚肉をお好み焼きの生地で包み、太田焼きそばを乗せてワッフル焼き器でプレス。焼きまんじゅうのみそだれで仕上げたのが群馬のお好そば焼きだ。

「群馬県産にこだわった点が一番のポイントです」とリーダーの宮嶋さん。前橋産の豚肉のほか、下仁田こんにやくやネギ、ヤマトイモ、スイートコーン、枝豆、キャベツなどを使用。食べた時の食感や見た目が分かりやすい点が審査員に評価されたという。メニューをアピールする1分間のプレゼンテーションも工夫した。「お祭りの屋台で販売したい」と思い開発したので、八木節の笛を吹き、バナナの叩き売りを参考にプレゼンしました」と山崎さん。法被を着て、はりせんなどの小道具を使い、抑揚のある口上で審査員を惹きつけた。スーパードと連携した商品化の話も進行中。3人の地元愛にあふれたアイデアで、群馬の新たなご当地グルメが誕生しようとしている。



現在の委員会は、宮城県気仙沼市と岡山県井原市、本市の3自治体。同

スローシティの取り組みなどを紹介するこのコーナー。今回は「スローなまちづくり全国推進委員会」について紹介します。スローなまちづくり全国推進委員会は、スローシティ国際連盟から認証される自治体の増加を目指し、スローシティの理念の普及・啓発を目的に設立した国内ネットワーク。地域の食や農産物、生活・歴史文化・自然環境を大切に、個性・多様性を尊重したまちづくりを推進します。



【Vol.5】スローなまちづくり全国推進委員会

☎ 観光政策課
☎ 027-257-0675



スローなまちづくり全国推進委員会ホームページはこちら

ホームページでは、各会員都市の魅力を紹介しているほか、スローシティの活動を応援する企業・団体や個人からの支援を募集しています。スローシティの理念は、SDGsの理念と共通する点もありますが、SDGsに先駆け平成11年から、持続可能な社会の実現を国際的な取り組みとして推進する先進的なプロジェクトです。ぜひ、「スローなまちづくり全国推進委員会」で検索してください。二次元コードからもアクセスできます。さらに、道の駅まえばし赤城の観光案内所では、各会員都市の観光パンフレットなどを設置。道の駅を訪れた際は観光案内所にも立ち寄り、本市と共にスローシティを推進する各会員都市の情報を手に取ってみてください。